

令和 5 年度 第 2 回 FD 研修会を開催しました。

FD 推進部会主催による令和 5 年度第 2 回 FD 研修会を令和 6 年 1 月 19 日（金）に開催しました。テーマは、「内部質保証について（教育の質の向上、学修成果の獲得など）」、「教員個人、学部学科単位での取組み（指導法、学生支援など）を可視化するには、学修成果の測定によって PDCA サイクルを機能させるためには」です。講師は、明治大学・研究推進部・研究知財事務室、IR 運営委員会専門部会員の山本幸一氏によるオンライン研修を実施しました。

研修後のアンケートでは、「例えば授業方法にしても、これまで培ってきたものを一気に変えるのではなく、これまでの知識や方法も温存しながらその内容をよりわかりやすく伝えていけばよいか、小さな改善から始めることも指摘されていたので記憶に残りました。」「学修成果に関するデータ（学生の成績や教員の指導内容など）の分析と、その可視化の必要性がよく理解できました。」「データや情報を収集するだけでなく、そこで得られたデータに基づいて、きちんと活用することが重要であり、皆にそれを受け入れる柔軟な姿勢が求められるという点は非常に首肯できる。」「意思決定をサポートする情報提供という視点でとらえた時、難しい数字は学生も敬遠してしまうため、教員が分かりやすい情報として提示し、自分で判断させるツールになるよう心掛けることであれば、業務に活かしやすい。」など多くの感想が寄せられました。

今回の FD 研修会で学んだことを活かし、授業改善に役立てていきます。